

令和7年度事業報告

相談支援事業所 けいせい

基本方針に対する 達成状況	利用者を中心とした支援ネットワークの構築により利用者主体の支援体制を作ることができた。これにより虐待等による保護入院のケースや地域の引きこもり状況にある精神障害者、高齢の親の介護問題を抱える障がいのある利用者の重層的な支援を行うことができた。
重点項目に対する 達成状況	上記にあるように、本人や家族の意向を丁寧に聴き取りながら支援体制づくりやサービス調整を行うができた。 支援機関との連携については、行政や基幹相談支援センター、発達障害者支援センターや2次相談支援との連携を強化し様々な視点で助言やサポートを受けることができ、利用者支援に取り組むことができた。
稼働目標に対する 達成状況	稼働件数月平均14.75件のため、稼働目標件数20件/月には至らず
予算執行状況	今年度、精神障害者支援体制加算（Ⅱ）の加算追加はあったものの、実績件数が目標件数に至らず予算通りに運営ができなかった
事業およびサービス 目標に対する達 成状況	本人および高齢の同居家族の意向を聞き取りながら、担当支援者の連携をはかりサービス調整をすることができた。 例）本人・家族でヘルパー利用（共生型サービス） 例）本人の短期入居、家族のショートステイ利用によるレスパイトケアの実現 担当利用者の支援に加え同居家族のケアマネジャーや担当ヘルパー事業所のサービス提供責任者との連携、ヘルパーや訪問看護サービスを同事業所で活用することで一体的にケアができる共生型サービスの実現を試みた。 結果として担当するヘルパーや看護師が利用者本人、家族の状況を把握しやすくなり状態変化に応じた対応ができたことによる家族間の支援や介護への負担軽減につながったこのように制度を越えて多種多様に支援や介護に関わることが在宅生活者の安心した生活につながることを実践できた。
その他事業計画に 対する達成状況	ノート型パソコンや簡易プリンターなどの設備が整い、モニタリング先で書類作成ができることでその場でサインをもらえるようになった。 これにより、サイン確認のための訪問を減らす事ができ業務効率化につながった。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月		20件	14件	
5月		20件	10件	
6月		20件	9件	
7月		20件	15件	
8月		20件	14件	
9月		20件	14件	
10月		20件	19件	
11月		20件	15件	
12月		20件	15件	
1月		20件	17件	
2月		20件	16件	
3月		20件	19件	

利用者別の内訳

月	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合計
4月	5	0	11	18	5	3	1		43
5月	4	1	10	19	7	3	1		45
6月	4	1	10	20	7	3	1		46
7月	4	1	10	20	7	3	1		46
8月	4	1	10	20	7	3	1		46
9月	4	1	10	20	7	3	1		46
10月	5	1	11	20	7	3	1		48
11月	5	1	11	20	9	3	1		50
12月	6	1	11	23	9	3	1		54
1月	7	1	11	23	9	3	1		55
2月	7	1	11	23	9	3	1		55
3月	7	1	10	20	9	3	1		51

年間行事等の報告

4月	
5月	瀬谷区相談支援部会
6月	虐待防止研修（基礎） 横浜市集団指導 高次脳機能障害者支援研修
7月	瀬谷区相談支援部会
8月	苦情解決研修 個別避難計画作成研修
9月	瀬谷区相談支援部会
10月	虐待防止研修（実践）
11月	瀬谷区相談支援部会 あさひ障福講座（制度義務化での困りごと解決）
12月	
1月	瀬谷区相談支援部会
2月	
3月	瀬谷区相談支援部会